

# 健康いわて

vol.303 2019.2/3

- 2 . . . . . 新会長挨拶
- 3 . . . . . 産業保健「健康支援セミナー」
- 4-5 同講演：職場環境の改善で健康増進につなげよう
- 6 . . . . . ホット一息保健室だより  
(岩手大学教育学部附属幼稚園 養護教諭 川村真紀さん)
- 6 . . . . . 世界結核デー
- 7 . . . . . Q & A 「健康診断の受け方」
- 8-9 . . . . . トピックス
- 9 . . . . . 新任医師紹介
- 10 . . . . . 保健活動検討会報告
- 11 . . . . . 健康を求めて「社会的健康とは何か？」
- 12 . . . . . Cocoa 通信 No.22





## 会長就任にあたり

公益財団法人岩手県予防医学協会  
会長 小原 紀彰

この度、平成三十一年二月一日より、石川育成前会長の後を受けて、会長を務めさせていただく事となりました。前任者同様、皆様のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、当協会は『岩手県民の健康と福祉に寄与する』を基本理念とし、創立当初より健康診断および健康増進事業を実施して参りました。平成二十七年には幼老統合事業を開始、地域社会と地域住民、乳幼児から高齢者まで多くの世代との関わりを持った事業を展開し、岩手県唯一の「総合健康支援機関」として県民の皆さまのご信頼とご期待に応えるべく鋭意努力して参る所存です。

平成三十年四月、新たに精密検査外来施設「ふわり」を開設いたしました。この施設は検診での所見があり、精密検査が必要とされた方のための施設で、治療を目的としたものではなく「トリアージ」の役割、つまりより高度な治療・検査が必要な方をより分けることを目的としたものです。対象は循環器内科、呼吸器内科、消化器内科分野です。当協会が事業の目標としている「集団から個への視点」を推進するための施設です。

健康診断・健康増進事業を目的とした施設「Big water<sup>ビッグウォーター</sup>」、県南センター<sup>コウナンセンター</sup>、幼老統合事業を目的とした施設「Cocoa<sup>ココア</sup>」、精密検査外来施設「ふわり」、これらの施設・事業を通じて県民の皆様のごところと体の健康づくりを支援すると共に、生涯に渡る健康増進を図り、一人でも多くの県民の皆様の笑顔につながることを当協会の使命と思っております。

岩手県予防医学協会は二〇二〇年十月、東京オリンピックの年に創立五十周年を迎えます。

半世紀に渡る事業展開を「過去」「現在」「未来」の視点で捉えたとき、「過去」においては当協会が健診を受けた皆様と、ご指導ご協力賜った皆様に感謝を申し上げます。「現在」においては継続して利用いただいている皆様と支えていただいている皆様に御礼を、「未来」においては『岩手県民の健康と福祉に寄与する』という基本理念と、創立のきっかけでもある「予防に勝る治療なし」の言葉を忘れることなく、その実現に向けた事業展開に邁進してまいります。

全ての事業は県民の皆様との信頼関係の中にあるとあります。今迄と変わらぬご指導ご協力をお願い申し上げます。

# 健康支援セミナー

## 第7回 産業保健

2月26日  
若手県予防医学協会 Big Waftle

同セミナーは、職場の健康診断の円滑な実施を支援するため、産業保健に関わる保健師や事務職を対象として開催し、67名の方にご参加いただきました。行政による情報提供や当協会の事業報告、講演会を行いました。

セミナーの最初に若手労働局労働基準部健康安全課長の高橋友行氏より、「労働衛生対策の今後の動向」として、先の働き方改革に合わせて改正された労働安全衛生法について説明がありました。主に産業医機能の強化が謳われた今回の改正では、事業者から産業医への情報提供の充実と強化、産業医と衛生委員会との関係の強化、産業医による労働者の健康相談の強化、事業者による労働者の健康情報の適正な取り扱いの推進が明記されました。

当協会からは事業推進部産業健診課長の笠原直貴より、平成29年度健診結果と平成28年度追跡調査結果の報告、次年度の変更点の連絡をいたしました。硫酸亜鉛試験（ZnTT）、チモール混濁試験（TMT）は診療報酬点数の算定対象から外れ、試薬メーカーが生産を中止したことから次年度より検査廃止となります。消費税率

については健診実施日における消費税率を適用することとします。X線検査はアナログからデジタルに移行となります。

施設健診課小笠原恵より「健康診断を活かすために」として、がん検診の意義と精密検査外来の紹介をいたしました。がんは検診での発見群の方が5年生存率が高いというデータがあります。所見がある場合には精密検査を受診することで、検診が活かされます。当協会では実施している精密検査は完全予約制で、精密検査受診率を向上させることを目的としています。受診者数は毎年増えており、昨年度は約2400名の方にご利用いただきました。

超音波検査について、医療技術部生理機能検査課係長の半田有希が腹部超音波について、同課係長菊池和子が心臓・頸動脈について、同部次長相馬明美が乳房についてそれぞれ紹介いた

しました。超音波検査は妊婦検診にも用いられる安全性の高い検査です。腹部検査は自覚症状のない状態での疾患発見に役立ちます。心臓・頸動脈では、心疾患や脳血管疾患の主原因となる動脈硬化や心機能の把握をすることができま

す。乳房では、マンモグラフィ検査との併用によるがん発見率向上に寄与します。当協会では超音波検査士を育成し、技師の手腕によりがちとされる超音波検査の質向上に努めています。

特定保健指導について、健康推進課管理栄養士佐藤亮子より説明いたしました。特定保健指導は検査値の改善に確実な効果がある一方、実施率が低迷しているのが課題です。当協会では施設内健診・人間ドックで健診当日の保健指導を実施しており、今年度は約400名に実施いたしました。



午後は整理収納について、参加者での討議やワークショップが行われました。



## 健康支援セミナー講演

## 整理収納コンサルティングStyler代表

金田玲子氏

# 職場環境の改善で健康増進につなげよう

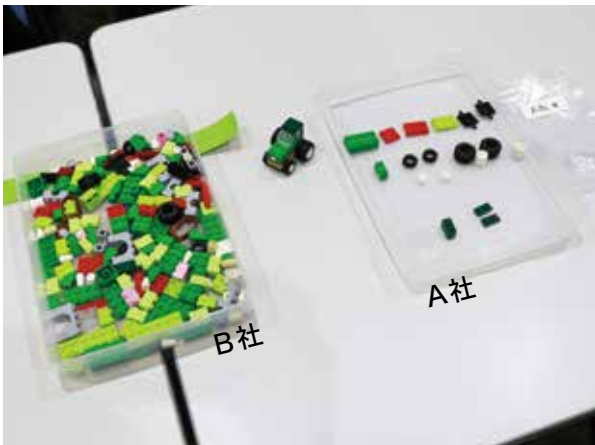
## 従業員が笑顔で働ける環境とは

「あの書類、どこにある〜」  
「みんな倉庫を綺麗にしてくれない!!」  
「アスクのボールペンが増えてゆく〜」  
「アスクのボールペンは、分かっていても後回し。そこに潜むリスクと、整理・収納・整頓がもたらす効果とは。午後の講演ではブロック組み立て体験を交えながら、職場環境の改善について学びました。」

## 散らかり体験

最初にA社とB社に分かれてのワークショップを行いました。ブロックで車を組み立てるのが目標です。A社のチームは必要な部品だけが揃い、そして綺麗に整えてあります。一方でB社は似たような部品が混ざり込んだ中から、必要なパーツを探し出しながらの作業です。作業するのは一人、途中から手助けにもう一人、観察する方を二人と役割を分けます。

終わってからの感想では「イライラした」「焦った」「効率が悪く、間違える危険を感じた」などの声が上がりました。



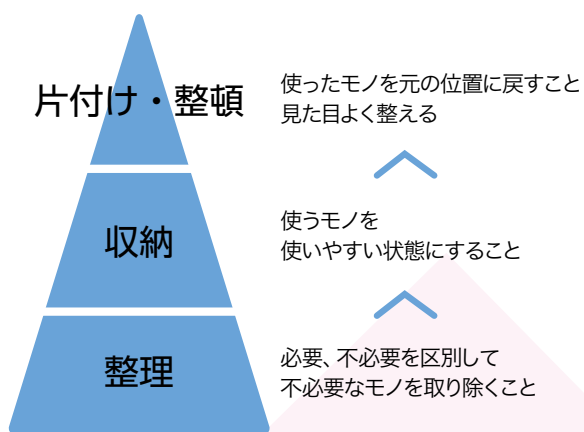
部品がまとめられ綺麗に置かれたA社（右）と、散乱して似たような部品が混ざり込んでいるB社（左）。



A社はお手本を見ながら組み立てるだけ。手前のB社はたくさんの似たような部品に迷い、時に間違えながら、なんとか組み立てています。

## 職場環境改善をしないこと…

今の作業を通して職場環境が改善されていない状態を体験できたと思います。皆さんが指摘したように、イライラしたり焦ったり、効率が悪かったり間違えそうになったりします。散らかっているというのは、そういう状態なのです。書類を探したり在庫を把握するという仕事、よくあることかもしれませんが、これは仕事の時間ではありません。その作業の生産性はゼロです。サボっているのと変わらず、時間の無駄であり、その労力に掛かっている費用は損失となります。何も産み出さないどころか、お金が掛かっているのです。



最初に整理、目指すは整頓された環境です。



講師の金田さん。苦手だった片付けを克服し、現在の職業に。

多くの場合、何かを探すのは時間に追われることになり、あるはずの場所がない、なかなか見つからないとイライラすることになります。精神的にマイナスであり、それは通常の仕事だけでなく健康にも影響します。対外的にも雑然としている職場や「どこだっけな」といった言葉、物を探すような時間には不信や不安を抱かせることとなります。

職場環境の改善は「片付け上手な○○さんが」とか「今は忙しいからヒマなとき」にやるものではないです。先に述べたムダを無くし、効率と生産性を上げるためのものです。この点をしっかりと覚えておく必要があります。これはサービス向上にもつながります。つまり、業務の一環として、全社的に取り組むべきものなのです。

## すぐできる環境改善

職場に不必要なモノがないか見てみましょう。机に余分なペンや付箋はないでしょうか。倉庫に過剰な在庫はないでしょうか。最初に取り組むのは整理、不必要なモノを取り除くことです。自分の机を必要なモノだけにしましょう。次は収納です。収める場所と働く場所が離れてないでしょうか。モノを取りに行く時間も生産性ゼロです。配置と導線を見直しましょう。収め方に迷うようであればグループピングという方法が便利です。「○○作業用セット」というようにまとめるやり方です。収納を分かりやすくするラベリングも重要です。「新人さん、いつも間違っって持ってくるんだよ」というのは、分かりづらい環境にこそ問題があります。誰でも分かるように、ファイルやケースに客観的に具体的な記載をしたラベルを貼り、そこに「○○綴り」などの余計な言葉をつけないようにしましょう。「その他」といった表現は厳禁です。

組織内に根付かせるためには、環境改善を共通の目的として認識する必要があります。その上ですでに述べたような改善活動を実行しましょう。生産性の向上にとどまらず、働きやすさにもつながる環境改善。従業員の満足度、顧客満足度の向上にもなり、企業の維持拡大につながります。

(文責…編集部)





## ホッと一息 保健室だより

No.51  
岩手大学教育学部  
附属幼稚園の取り組み

「子どもたちと一緒に、

わくわくする保健指導を！」

岩手大学教育学部附属幼稚園

養護教諭 川村 真紀 先生



▲園児とかぜのばい菌をみる  
川村先生



春はさくら色のじゅうたん、夏はまぶしい緑、秋は赤や黄、オレンジの色とりどりの布団、冬はまぶしい白、キラキラ光る氷の寶石。四季折々の豊かな自然の色を感じられる園庭。大きな木の下で秘密基地、森の中にあるキッチン：様々なイメージが広がる素敵な環境の幼稚園。

しかし、本園には保健室はなく職員室に「保健コーナー」があります。日々の活動は、ポシエットにカットバンなどを詰め、「移動保健室」として子どもたちと一緒に生活しながら、その時の出来事を通して保健指導をしています。また、毎月の保健目標に合わせて、オリジナルキャラクター「げんきくん」（パペット）を使つての保健指導も行っています。「げんきくん、野菜を食べてなかったんじゃない？」3歳児クラスで、かぜ予防の指導で「手洗い」の話をした時のこと。以前、野

菜を食べない「げんきくん」が体調を悪くしたという話を思い出し、「げんきくん」が風邪をひいたのは、「野菜も食べなかったからだよね。」というものでした。

幼児は、様々なことに興味や関心を持ち、体験したことをもとに、日常の中に小さな発見や楽しみを見出していきます。その純粋な好奇心にいつも驚かされています。

子どもたちが「えー!!!」と目を丸くするような、わくわくする保健指導をめざして、これからも子どもたちの傍らで一緒に毎日を楽しみながら、「自分のからだ」に関心を持ち、自分も友だちも大切に作る気持ちを育んでいきたいと思っています。

## 3月24日は



## 世界結核デー

3月24日は細菌学者ロベルト・コッホが1882年に結核菌を発見したことにちなみ「世界結核デー」と制定されています。この日は日本国内および世界各国で、結核への意識を高めるイベントが行われます。

日本では今でも一日に50人の新しい患者が発生し、5人が命を落としています。新たな結核患者の7割が65歳以上の方であり、高齢化が進んでいます。

世界では総人口の約4分の1が既に結核に感染しています。2016年には1040万人が新たに結核を発病し、170万人が亡くなりました。

結核は、最初は風邪に似た症状が始まりますが、2週間以上続く咳・痰・微熱があれば、早めに病院にかかりましょう。早期発見は本人の重症化を防ぐだけでなく、大切な家族や友人、職場への拡大を防ぐためにも重要です。

世界の中で日本は結核中蔓延国です。2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに結核低蔓延国（人口10万対10以下）の仲間入りをして、世界の皆様をお迎えしましょう。

（出典：公益財団法人結核予防会「結核の常識2018」）

# ここが知りたい Q&A



この春社会人になります。会社に入ると必ず健康診断を受けなければならないと聞きました。少し心配です…。

職場では法律で健診を受けることが決まっています。できるだけ正しい結果が出るように、前日、当日の飲食の仕方など、上手な受け方のコツを紹介します。



健康推進課 課長補佐  
保健師 阿部 千恵子  
(イラスト 佐々木寛子)

## 前日の過ごし方

過度の飲食を避け、飲食は健診受付の10時間前を目安に済ませましょう。  
消化の悪いもの・脂肪分の多いもの・アルコールを避けた食事をおすすめします。

血糖や中性脂肪などの結果に影響する場合があります。



## 当日の過ごし方

### ■食事について

空腹時検査（胃部X線、空腹時血糖、腹部超音波検査）の場合、朝食をとらない。起床後すぐなら少量の水・白湯（約100ml）はOK

### ■薬の服用について

空腹時での検査の場合、糖尿病の薬（注射を含む）は服用せず、健診後に服用できるようお持ちください。毎日飲む高血圧、心臓病の薬は服用してください。

その他の薬については主治医にご相談を。



### ■運動について

激しい運動は控えましょう。

### ■以下について事前に申し出ましょう

- ・採血～血液が止まりにくい、採血で具合が悪くなったことがある
- ・胃の検査～バリウムでアレルギー反応を起こしたことがある
- ・X線検査～妊娠中、妊娠の可能性がある

## けんしん知っ得情報

### ◇尿検査

最初の尿は採らず「中間の尿」を採りましょう。これで尿道付近に付着している細菌等を洗い流すことができ、正確な結果が得られます。



\*ビタミンC剤・総合ビタミン剤は尿検査に影響するので2日前くらいから服用は控えましょう。

### ◇タバコ

検査が終わるまでタバコ（電子タバコ含む）は吸わない。検査結果に支障がでます。例えば胃壁を刺激し胃液がたくさんでるため、バリウムが胃壁につきにくくなります。他に血圧や心電図検査への影響も！



## スムーズな健診のために

～おすすめの服装～

### ・血圧測定

締め付けない袖口で。

### ・心電図

ネクタイ・ストッキングは前もってはずしましょう。胸部、両手足に電極をつけるためです。



### ・胸部X線

ボタン・金具・プリントのない無地のTシャツ。

### ・診察

胸部を聴診できるようまくり上げやすい服装。



健診会場へは、余裕を持って慌てずに向かいましょう。



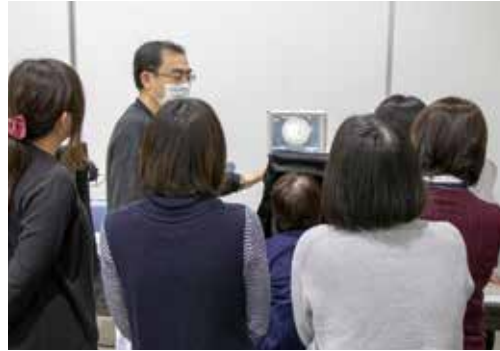
## 定期的な眼底検査を



2月15日、岩手県より委託を受けて平成30年度生活習慣病検診等従事者指導講習会を当協会Big Waiteにて開催いたしました。健康検査の質の向上や充実を目的とし、医療関係

者を対象に行われました。講師として森眼科クリニック院長の森敏郎先生(日本眼科学会、眼科専門医)を招き「生活習慣病と眼疾患について」というテーマでお話を伺いました。眼底検査は特定健康検査の導入から受診者が減りました。しかし糖尿病網膜症や高血圧症との関連から「眼底検査の重要性が再確認される」ようになり、2018年から始まった第3期特定健康診査では検査対象が拡大されました。「眼底の検査は色々な情報を得ることが出来ます」と森先生は述べ、失明原因の上位を占める緑内障、糖尿病網膜症、黄斑変性症な

どの発見や管理に有用であることを指摘。高血圧症や糖尿病における眼科と内科の連携を紹介しました。最後に「初期の網膜疾患は2つの眼が補充してしまうこともあり、自覚症状がありません。定期的な検診が重要です。」とまとめました。



会の後半では当協会生理解能検査課係長の高橋直光より、眼底・眼圧・視野検査の概要説明と眼底検査の症例報告、そして参加者を交えた各検査の実習が行われました。

## 石川育成前会長お別れの会

本年1月2日に逝去した石川育成前会長のお別れの会を3月3日盛岡市民文化ホールにて執り行いました。岩手県医師会、岩手県医師国保組合、岩手県医師信用組合、いわて医師協同組合、岩手医科大学圭陵会、同九樹会と合同で行われた会に、約1000名の方の

ご参会をいただきました。代表して岩手県医師会会長・当協会会長小原紀彰が挨拶を申し上げ、また各界から弔辞をいただきました。多くの方が東日本大震災での活躍に触れ、長きに渡り行われた岩手県医師会高田診療所での成果や、それを牽引した力強い指導力や存在感といった人柄への想いをしのびました。会に際しましては、ご多用中にもかかわらず多数のご参会を賜わり、厚く御礼申し上げます。みなさまのご厚情に感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。



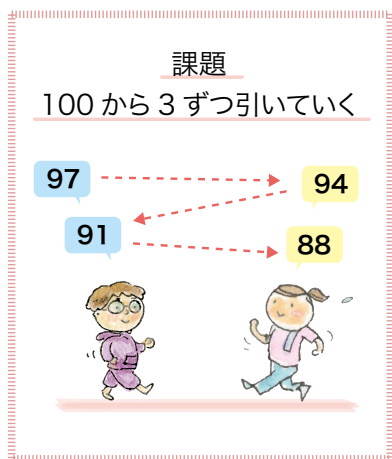


## コグニサイズ促進協力施設認定

当協会は岩手県で初めて、国立長寿医療研究センターより同認定を受けました。コグニサイズを多くの方々知ってもらうため、平成31年度、各市町村を対象とした無料体験を実施することいたしました。

コグニサイズとは、コグニション（認知）とエクササイズ（運動）を組み合わせた造語で、これらを同時に行うことで脳とからだの機能を効果的に向上させる手法です。国立長寿医療研究センターが開発、指導者養成を行っています。健康いわて301号でもご紹介しましたが、左の絵のように行います。引き算やしりとりは座っていると簡単ですが、足踏みやウォーキングを組み合わせるとぐっと難しくなります。転倒に気をつけながら、楽しんでやるのが大切です。

無料体験のお問合せは健康推進課（019-638-4886）まで。



## 風しんを防ぐために

関東地方を中心に風しんが再び拡がりを見せています。岩手県でも盛岡市で2月に1人の発症がありました。

風しんとは、発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症で、子どもでは比較的重症ですが、大人がかかると症状が重くなることとなります。また妊婦、特に妊娠初期の女性がかかると、そのウイルスが胎児に感染し、難聴、心疾患、白内障、そして精神や身体の発達遅れ等の障がいをもつた赤ちゃんが生まれる可能性があります。「先天性風しん症候群」といわれ、これを防ぐため厚生労働省は抗体保有率の低い世代を対象に抗体検査・ワクチン接種事業の実施を決定し、4月以降に実施される予定です。

妊娠を希望する女性とその配偶者への抗体検査・ワクチン接種の助成をする自治体が増えており、岩手県でも同様の助成を行っています。妊婦してからはワクチンを接種できません。子どもを希望する人、そして周囲の人は十分な免疫があるか、抗体検査で確認をすることが大切です。詳しくは各自自治体へお問合せください。

出典：「風疹とは」『風疹Q&A』（国立感染症研究所）（3月5日利用）を元に編集  
岩手県感染症情報センター <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/index.html> (3月5日利用)

## 新任医師 の紹介

すずき ひろき  
鈴木 浩基



- 【役 職】 婦人科健診部長
- 【最終学歴】 弘前大学医学部
- 【職歴・経歴】 1988年より2004年まで岩手医科大学産婦人科教室所属、関連病院勤務。2004年より石心会川崎幸クリニック勤務。
- 【所属学会・資格等】 日本産科婦人科学会専門医、日本臨床細胞学会専門医
- 【趣味】 アウトドア、インテリア
- 【ひとこと】 健診業務、慣れていきます。

住民健診に関わる県・市町村・保険者との情報共有と連携を図るため、保健活動検討会を開催し、53名の方にご参加いただきました。

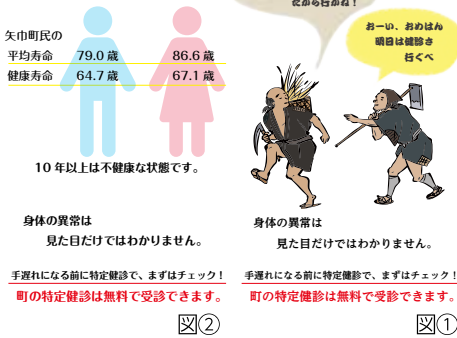
最初に岩手県保健福祉部より健康国保課健康予防担当課長菊地幸男氏が「健康づくり事業の取組について」として報告をしました。内容として、糖尿病性腎症重症化予防、フッ化物洗口（むし歯予防対策）推進、アレルギー疾患対策、受動喫煙防止対策が挙げられました。

続いて同部医療政策室技術主幹兼感染症担当課長小野泰司氏が「風しんの追加的対策について」として、2月8日に厚生労働省より出された手引きを基に同事業の説明を行いました。手引きでは風しんを「感染力が強い疾病」とし、妊娠中の女性の感染により「子どもに眼や耳等の障害を含む『先天性風しん症候群（CRS）』が生じる可能性」があることから、特に抗体保有率の低い世代の男性を対象として抗体検査と予防接種を行うこととしています。4月からの開始を目指し、今後県・市町村・医療機関等の調整が進められます。

矢巾町より健康長寿課主任保健師竹鼻朋氏から「健診機関と協働の特定健診の受診勧奨

の取り組みと今後の課題」とした報告がありました。これは矢巾町と当協会が共同で行った特定健診受診率向上の取り組みです。「矢巾町では近年の受診率が50%前後に低迷」していることから、これまでは町独自で受診勧奨を実施していましたが、しかし業務量増加や効果の検討が十分ではなく、実効性に疑問が持たれていたとのことです。そこで当協会も参加する会議の中で今回の取り組みが提案されました。

役割分担として「町は対象者を抽出し、予防医学協会さんにハガキのデザインを含めた作製、印刷、発送をお願いしました」とし、実際のデザインを紹介しました（図①②）。今回は12月の追加健診に対して未受



診者への受診勧奨を行いました。結果として、受診者数は3日で347名、前年より11.3名の増、また全体の受診率も0.47%向上しました。「ハガキは受診間隔が空いていない人に有効」と分析し、今後は全体の受診率向上を目指して、受診勧奨の時期や回数、方法を検討することとしました。「受診するという行動変容につなげるためには、『きっかけ』が必要であり、受診勧奨はこの『きっかけ』を提供する」となると竹鼻氏はまとめました。

最後にポスターオブザイヤーの発表を当協会事業推進部長米澤慎悦より行いました。ポスターは特定健診の受診率向上のために市町村と共同で作製しているものです。健診日程を掲載するだけでなく、印象的な写真や受診を促すフレーズなど工夫を凝らしています。参加者の皆さまに投票いただいた結果、今年度は5世代大家族の写真が素敵な花巻市さんが1位となりました。

花巻市二枚巻倉庫  
5世代大家族 ★山村さんご一家★

健診を受けてみんなの笑顔をつなごう

市町村	特定健診実施日	実施場所	実施時間	実施機関
花巻市	2月21日(水)	花巻市健康福祉部健康づくり課	9:00-11:00	花巻市健康福祉部健康づくり課
花巻市	2月21日(水)	花巻市健康福祉部健康づくり課	13:00-15:00	花巻市健康福祉部健康づくり課
花巻市	2月21日(水)	花巻市健康福祉部健康づくり課	17:00-19:00	花巻市健康福祉部健康づくり課
花巻市	2月21日(水)	花巻市健康福祉部健康づくり課	9:00-11:00	花巻市健康福祉部健康づくり課
花巻市	2月21日(水)	花巻市健康福祉部健康づくり課	13:00-15:00	花巻市健康福祉部健康づくり課
花巻市	2月21日(水)	花巻市健康福祉部健康づくり課	17:00-19:00	花巻市健康福祉部健康づくり課
花巻市	2月21日(水)	花巻市健康福祉部健康づくり課	9:00-11:00	花巻市健康福祉部健康づくり課
花巻市	2月21日(水)	花巻市健康福祉部健康づくり課	13:00-15:00	花巻市健康福祉部健康づくり課
花巻市	2月21日(水)	花巻市健康福祉部健康づくり課	17:00-19:00	花巻市健康福祉部健康づくり課

健康管理係 (花巻保健センター内) TEL 0198-23-3121



# 健康を求めて

産業保健支援部長 立身政信 たつみまさのぶ

## 第二編 社会的健康とは何か？

WHO（世界保健機関）憲章の序文には、「健康とは肉体的にも精神的にも社会的にも完全に良い状態である」と書かれてあります。しかしながら、肉体的な面を見ただけでも完全に良い状態の人はあり得ないので、健康は一つの目標であり、そこに向かって生きていく状態が健康であるという考え方を前回に提案してみました。

ところで、肉体的健康と精神的健康は個々の問題として取り扱うことができませんが、社会的健康とは社会の中で個々人が良い状態にあるということではなく、集団としての社会そのものが良い状態にあるということなので、次元の違う難題です。社会とは人の集まりであるとともに、土地や自然などの環境をも含めたものと考えられ、その現状評価等には様々な統計が用いられます。その中で健康情報に関するものは「衛生統計」として国や

地方自治体などが実施し、公衆衛生施策の評価や策定に用いられます。したがって、統計の取り方や読み取りを誤ると国の将来に重大な影響を及ぼすこととなります。

「衛生統計」という言葉が出てきましたが、前回「衛生とは、明治時代に初代衛生局長の長与専齋がドイツ語の『Gesundheitspflege』を邦訳したもので、中国の莊子を参照したことを自伝の松香私志に書いています。」と紹介



しました。即ち「衛生」は『Gesundheitspflege』を単に直訳したのではなく、長与専齋が莊子を参照して作り出した和製漢語なのです。松香私志には「字面高雅にして呼声も悪しからず」ということで「衛生」を採用したとしか記されていないのですが、長与専齋の心中には莊子の説く「衛生」の本来の意味が去来していたと考えられます。「衛生」という言葉は社会的健康の考え方をともうまく表しているのです。

莊子第23編（庚桑楚篇）に、老子の言葉として「衛生とは能く一を抱くこと」とあります。老莊思想において「一」とは全てのことです。仏教が老莊思想（道教）の影響を受けて成立したとも言われる「禪」、その高僧であった内山興正老師は、「1 = 100/100、突き詰めれば全体＝全体だ。」と喝破しました。前回「求道すでに道である」という言葉を引用させていただいた宮沢賢治の農民芸術概論綱要序論にも「新たな時代は世界が一の意識になり生物となる方向にある」という一節があります。私たちを含めて、地球上の生物は他の生物を摂取することで肉体を成長させ、やがてその肉体は微生物などに摂取されます。食物連鎖と呼ばれる循環です。動植物にとどまらず、大地も水もその循環の一部です。私たちが地球という環境の中にいるのではなく、私たち自身が地球の一部、即ち地球そのものであるということです。社会的健康を人間の目線から捉えるならば、グローバルには人間のための理想的な地球環境を求めていくことであり、ローカルには文化的側面も含めた理想的な地域環境を求めていくことになるでしょう。



デイサービス  
高松の池へドライブ



児童クラブ  
冬休み「スケート遠足」の巻  
歩いてスケート場を目指します。



バレンタインデーにチョコフォン  
デュパーティー。大好評でした！



途中イオンのフードコートでお昼  
ご飯。お金を握りしめて、自分で  
選び、自分で買いました。



保育園  
雪の少ない冬でしたが、降った時  
は大喜びで遊びました！



スケート場到着！冬のスポーツを  
たっぷり楽しみました。  
帰りも頑張って歩きました！



お相撲大会  
みんな四股名をつけて土俵に  
上がりました。真剣！



節分の日、赤鬼と青鬼が保育園に。  
鬼に向かって「おにはそとー！」と  
元気に豆を投げました。

編集後記

デイスブレイの下に潜んでいたメモ帳。以前作った頒布品。終わった仕事の資料。引き出しにある風邪気味の時に入れたと思しき薬に、綴るべき書類が数点。もちろん、捨てて収めて整えました。

一方で今号の資料と校正版は散在させたまま。必要悪ならぬ必要散乱。言い訳ではない。入稿後に片付けて、スッキリと空いた机の前に感傷に浸る。そしてまた資料を集めて溜めて書いてゆく。編集2年目、引き続きよろしく願っています。

60

健康いわて第303号 2019.2/3 平成31年3月20日

発行者 公益財団法人岩手県予防医学協会 小原 紀彰  
編集 公益財団法人岩手県予防医学協会 事業管理課 広報係  
〒020-8585 盛岡市北飯岡四丁目8番50号  
TEL 019-638-7185 (代) FAX 019-637-1278  
E-mail info@aogiri.org http://www.aogiri.org/  
印刷 川口印刷工業株式会社